

成績評価について～ 常磐大学「履修案内」抜粋

○ 成績の評価

- (1) 成績の評価は、試験の成績によるほか、平素の授業への貢献度、授業期間中の試験成績、レポート、論文、その他によって行われます。(詳しくは、講義要綱(シラバス)において授業科目毎に成績評価の基準が示されています。)
- (2) 授業科目の成績は次の基準に従い、S、A、B、C(以上合格)およびD(不合格)の5段階で評価されます。評定S、A、B、Cには所定の単位が与えられますが、評定Dには単位が与えられません。
- (3) 受験資格喪失者および試験欠席者などについては、原則として不合格となり、単位は与えられません。
- (4) 一度合格を得た授業科目は、いかなる事情があっても再度単位を修得することはできません。

評価		GP	区分
評定	評点		
S	100～90点	4	合格
A	89～80点	3	
B	79～70点	2	
C	69～60点	1	
D	59～0点	0	不合格
F	試験欠席	0	欠試
X	受験資格喪失	0	喪失
W	履修取消	対象外	評価外
\$	単位認定	対象外	合格
履	履修中	対象外	履修中

○ GPA制度

(1) GPA (Grade Point Average)

本学では、きめ細かな履修指導を行うため、GPA制度を導入しています。GPAとは、履修した各授業科目の評定に対してそれぞれのGP(Grade Point)を定め、当該期間の成績の平均値を示す成績評価の表示方法の一つです。GPAは、不合格科目も含め、 Semesterごと、年度ごとの値が計算されるので、学生が自分の学修の履歴を把握することができ、学修を促進するのに効果的な成績評価の表示方法です。米国をはじめ海外の多くの大学が採用しており、留学や国内外の大学院への進学を希望する場合に、提出が求められることがあるものです。

(2) 総GP(GPT)・GPA・評点平均の算出方法

<p>① 総GP(GPT)</p> <p>総GP(GPT: Grade Point Total)とは、履修登録した科目の5段階評価(S、A、B、C、D)を4から0までの点数(GP: Grade Point)に置き換え、それぞれ履修科目の単位数を掛けて総和した値です。</p> <p>総GP(GPT) = (「Sの修得単位数」×4) + (「Aの修得単位数」×3) + (「Bの修得単位数」×2) + (「Cの修得単位数」×1)</p>
<p>② GPA</p> <p>GPAは、総GP(GPT)を履修登録単位数の合計で割って算出します。</p> <p>GPA = $\frac{(\text{「Sの修得単位数」} \times 4) + (\text{「Aの修得単位数」} \times 3) + (\text{「Bの修得単位数」} \times 2) + (\text{「Cの修得単位数」} \times 1)}{\text{「履修登録した科目の単位数」の総和 (D・F・Xを含む)}}$</p> <p style="text-align: right;">* 小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で表示</p>

③ 評点平均

評点平均は、成績が確定した科目ごとの評点の総和を履修登録した科目数（D・F・Xを含む）で割って算出します。

$$\text{評点平均} = \frac{\text{評点の合計}}{\text{履修登録した科目数（D・F・Xを含む）}}$$

* 小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で表示

(3) GPAを算出する対象科目

① GPA算出対象科目

成績評価が、S・A・B・C・D・F・Xと表示される科目

② GPA算出対象外科目

履修取消を申請した科目（履修取消「W」と表示される科目）

単位認定科目（3年次編入や留学等により単位認定「\$」と表示される科目）

(4) GPA値の表示形式

成績通知書には、セメスターごと、年度ごとに、累積の総GP（GPT）、GPAおよび評点平均を表示します。

成績証明書には、累積のGPAを表示します。

なお、通年科目については、秋セメスター科目に含めて総GP（GPT）、GPAおよび評点平均を計算して表示します。